

『医者がすすめる専門病院』(平成22年5月15日刊)

に当院 **外科** が紹介されました



釧路労災病院 外科(消化器・乳腺・一般外科・緩和ケア)

所在地 釧路市中園町 13-23

TEL 0154-22-7191

スタッフ 小笠原和宏副院長・第1部長(消化器外科☆、乳腺外科、緩和ケア、禁煙外来)、高橋学第2部長(消化器外科、乳腺外科)、小林清二第3部長(消化器外科)、長佐古良英第4部長(消化器外科☆、腹腔鏡外科)、河合朋昭第5部長(消化器外科)、砂原正男第5部長(消化器外科)、徳渕浩、大畑多嘉宣(外科一般)の常勤医8人。



小笠原 和宏
1957年生まれ。
北海道大学医学
部卒

特色 釧路地域における中核病院の外科として、食道から胃・肝胆膵・結腸・直腸まで、専門に限定されずに幅広く診療している。診断と内視鏡下手術(EMR および ESD)を担当する内科と連携し、診断から手術・化学療法・放射線療法(治療専門医:常勤1人)まで一貫して行っている。がん診療連携拠点病院として緩和ケアにも力を入れており、再発に対する集学的治療や終末期ケアも実践している。北海道大学消化器・一般外科との連携により、高難度手術や臓器移植への道も提供している。「患者さんに対して誠実な医療」をモットーとし、十分なインフォームド・コンセントに基づくスタンダードな医療の提供に努めている。

症例数・治療・成績 09年の総手術件数は736例(うち全身麻酔645例)であった。食道がん4例(非切除0例・以下同じ)、胃がん48例(5例)、十二指腸・小腸がん2例(1例)、大腸がん85例(10例)、肝胆膵がん12例(11例)であった。良性疾患では、胆石症150例、虫垂炎44例、鼠径・腹壁ヘルニア80例であった。なお、乳がんは84例であった。臨時手術は101件、うち時間外手術は67件であった。疾患ごとに最近10年間の症例数と治療成績(00～09年)を示す★**胃がん**=年間手術件数は49～67例。09年よりSMまでの早期胃がんに対して腹腔鏡補助下胃切除術を導入した。総切除手術件数は508例で、病期別5年生存率(他病死含む)は、IA:92%、IB:89%、II:65%、IIIA:41%、IIIB:53%、IV:9%であった★**大腸がん**=年間手術件数は57～116例。腹腔鏡下手術の歴史は長い、早期がんを中心に近年症例数を増やしつつある。総切除手術件数は729例で、病期別5年生存率(他病死含む)は、0:96%、I:89%、II:82%、IIIA:64%、IIIB:59%、IV:20%であった★**肝胆膵がん**=年間手術件数は肝がん7～16例、胆道がん4～11例、膵がん1～8例。肝細胞がんの切除手術件数は44例で、病期別5年生存率は、I:100%、II:68%、III:47%であった★**食道がん**=年間手術件数2～11例で、標準的な開胸・開腹手術を行っている★**化学療法**=外来化学療法室を整備し、当科だけで月平均98回の外来化学療法を実施している。内科ほかと合わせると年間2,150回にのぼる。ただし、遠隔地から通院する患者さんのために、短期入院による化学療法にも対応しており、09年には88症例で延べ371回の入院化学療法を実施した。北海道大学をはじめとする全国のセンター病院とも連携し、臨床試験のみでなく他施設での術後に補助化学療法を継続希望の患者さんも受け入れている★**緩和ケア**=医師2人、認定看護師3人、認定薬剤師1人、作業療法士・理学療法士、心理判定員、管理栄養士によるコアメンバーからなる緩和ケアチームが、コンサルテーション型のケアを提供している。多くの医師・看護師等がサポートメンバーとしてチームを支えており、緩和ケア病棟の開設を目標として活動している。「病気の診断・告知から始まる緩和ケア」を基本として、終末期に限らず、切れ目のない緩和ケアの提供を心がけている★**良性疾患**=腹腔鏡下胆嚢摘出術は、91年に導入以来1,500件を超え、年平均88症例を手術している。鼠径ヘルニア手術として中高年者以上に対して合成繊維のメッシュを用いる tension free repair を導入しており、年平均手術件数は86例であった。

医療設備 MRI、64列MDCT、CT、シンチグラフィ、超音波、腹腔鏡・胸腔鏡手術システム、超音波凝固切開装置(ハーモニック・スカルペル)、VIO電気メス、アルゴン・レーザー凝固装置、リニアック治療装置、PDE赤外線カメラ、マンモトームなど。

外来診療 月～金。初診受付は午前8時15分～11時。小笠原=月・木、高橋=水・金、小林=月・木、長佐古=月・水、河合=水・金、砂原=木、旭=金。火午前は交代制による一般外来。電話による問い合わせは午後2時～4時(代表電話から外科外来へ)。医師の紹介がある場合は地域医療連携室を通じて事前予約可能。緩和ケア外来の初診は完全予約制(外科一般外来とは独立しており、療養サポート室まで問い合わせが必要)。

セカンドオピニオン受入
主治医指名
執刀医指名
初診予約